

## 水のまち研究会

まちを知り、  
まちに生きる

### 水のまち研究会 第一回コアセッション 開催のお知らせ

日時：2018年4月26日（木）  
7:30-9:00 pm

場所：柳川市椿原町 14（駐車場無し）  
参加費：千円

2017年後期シドニー大学柳川演習を迎えるにあたり、椿原塾として二回セミナーを行った際、各回30名前後の方に参加していただきました。

昨年の経験と反省をもとに、今年度は組織変更を行いました。椿原塾は昨年同様シェルトンと岡山で構成し、より専門的な活動に専念することにしました。同時に、市民参加のコミュニティ及び地域活動分野を拡大深化するため、新たに「水のまち研究会」を立ち上げました。

昨年の二回のセミナーとシドニー大学演習のあと浮上した問題点のひとつが、柳川に住んでいて柳川のことをあまりよく知らない市民が予想外に多いということでした。まちづくりや商店街活性化の活動はあちこちで見られますが、柳川の町の歴史や文化、構造的特徴などを知った上での専門的・総合的アプローチは少ないという意見が多く寄せられました。

そういった声に応えるため、水のまち研究会では、以下の活動目標を掲げています。

専門家を交えたワークショップを通じて、柳川市民が、

- 自分達の住む町の歴史・構造・文化・魅力等を理解し
- より住み良い町へのアイデアの幅や実現可能性を広げ
- まち活性化のリーダーとして成長していける

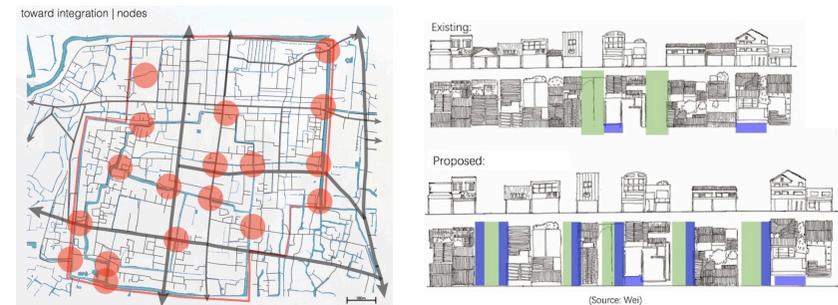
場を提供する。

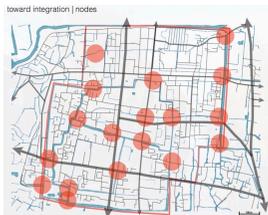
ワークショップは、まち解読のリーダー養成を目的とした少人数コアセッションと、一般向けオープンセッションを平行して開催します。

第一回コアワークショップの題材は以下の二点です。

- 旧柳川市の都市デザイン分析と2017年シドニー大学柳川演習の報告
- 水のまち研究会2018年度活動内容とスケジュール報告

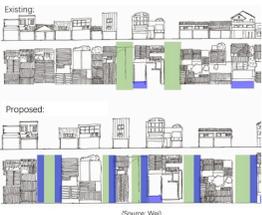
水のまち研究会代表 岡山恵美子





水のまち研究会 2018 公開講座  
**柳川のまちを読み解く**  
 水とともに生きつづけるために

水のまち研究会  
 まちを知り、  
 まちに生きる



柳川市市民協働のまちづくり事業 主催 水のまち研究会 協賛 柳川商店街振興組合

第一回公開講座（オープンセッション）日英通訳付き

### 都市デザイナーがみた柳川：水のまちの構造分析

イギリス出身の都市デザイナー、バリー・シェルトン氏に、旧柳川市（柳河地区と城内地区）を専門的な立場から分析していただきました。昨年11月にシドニー大学修士課程学生15名が参加して行われた、アーバンデザイン柳川演習の成果もあわせて講演していただきます。シェルトン氏は、2016年10月に柳川に移住。執筆のかたわら、東京、大阪などで講演や調査などの活動をしています。著書「日本の都市から学ぶこと」では、日本の都市のありかたを、歴史や地理・文化・産業・都市計画など含めた総合的な観点から考察し、鋭い批評を提示しています。シェルトン氏が過去1年半にわたって柳川のまちを歩き、資料を読み、学生と共に演習を行いながらまとめた、建物・街並み・掘割の関係、柳川の都市計画などについての意見を語っていただきます。人口減少、高齢化がすすむ地方都市・柳川は、今後どのような都市デザインを目指すべきなのでしょう？住み良いまちとして次世代へつないでいくために、私たち市民は、何をすべきなのでしょう？

日時：2018年5月13日（日）14:00～16:00  
 （13:30会場・受付開始）  
 場所：あめんぼセンター 2階 AVホール  
 （柳川市一新町3-1 柳川市立図書館）  
 参加費無料／定員150名 どなたでも参加できます。  
 駐車場の混雑を避けるため、できるだけ徒歩で御参加ください。

講師 **バリー・シェルトン**  
 （アーバンデザイナー／シドニー大学名誉教授）



イギリス・ノッティンガム市生まれ。1986年アデレード大学大学院建築学都市計画修士課程修了。1990-97年タスマニア大学アーバンデザイン学部長、2002-09年シドニー大学アーバンデザイン学科主任兼大学院副学部長、2010-13年メルボルン大学アーバンデザイン学科准教授。2000年バーミンガム・シティ大学客員教授、2007年名古屋大学客員教授、現在、シドニー大学建築・デザイン・都市計画学名誉教授、専門は都市史・都市理論・都市形態学・都市デザイン。

### 報告 水のまち研究会 2018年度活動内容とスケジュール

「まちの解読者」になるために  
 水のまち研究会は、旧城下町であり水のまちである柳川の過去現在を理解し、未来への提案を考える活動を行うことにより、柳川の町の景観・文化・伝統等をより良いかたちで次世代へ継承することを目的とする団体です。2017年9月より本格的な活動を開始しました。主な活動内容は、以下の2点です。

- ①柳川のまちに対する市民の理解を深めるための活動
  - ②柳川のまちをより住みやすく魅力ある町にするための活動
- 2018年度は「柳川市市民協働のまちづくり事業」の一環とし、「柳川のまちを読み解く」をテーマにかかげ、専門家を交えたワークショップやシンポジウムを企画しています。柳川市民が自分達の住む町の歴史・構造・可能性を学び、柳川の町の特徴と魅力を理解し、様々なメディアを使って発信していく場を提供するのが目的です。まちを知ることによって、活性化のアイデアの幅や実現可能性を広げ、また、ワークショップを通して、まち解読と活性化のリーダーを育てる活動も行います。年4回の公開講座（オープンワークショップ）を開催予定です。

今後の公開講座のテーマ（予定・順不同）

他都市の例から学ぶまちの未来
ー東大阪市の都市計画と布施三ノ瀬小学校跡地問題
ーオーストラリアの場合（ホバート市、アデレード市）
柳川市の都市計画の現状
都市と自然・都市の中の自然再生と活用
その他

詳細は決まり次第  
 水のまち研究会のfacebook ページ  
<https://www.facebook.com/mizunomachi/>  
 でお知らせします。

水のまち研究会代表 岡山恵美子



長崎出身。長崎大学教育学部卒。ダブリンシティ大学大学院応用言語学異文化研究学部、シドニー大学大学院言語文化学部等で、言語学・文学・翻訳理論を学ぶ。2007年夏目漱石の文体研究でシドニー大学から博士号取得。シドニー大学、メルボルン大学で教鞭を執る。2007-08年国際交流基金フェローとして名古屋大学大学院で研究。2013年オーストラリア国立図書館ジャパンフェロー。専門は江戸・近代文学、歴史言語学、翻訳理論。

参加申込  
**5月10日（木）**までに  
 下のアドレスにE-mail（メール）でお申込みください。  
[mizunomachik3@yahoo.co.jp](mailto:mizunomachik3@yahoo.co.jp)  
 ①お名前 ②ご所属 ③お電話番号 ④メールアドレスをご記入ください。

または、  
 「Café 帰去来」に申込用紙を用意しております。  
 Café 帰去来  
 柳川市京町4 8

柳川のまちを読み解く  
水とともに生きつづけるために

水のまち研究会 第二回公開講座

まちを知り、  
まちに生きる

参加費千円

柳川市市民協働のまちづくり事業 主催:水のまち研究会 協賛:柳川商店街振興組合

日時:2018年7月15日(日)14時~16時(13時半開場)

場所:柳川市京町62-1 hatago 2階(駐車場無し)

講演 日英通訳付き 定員:50名

## ホバート市ウォーターフロント都市デザイン から柳川の未来を考える

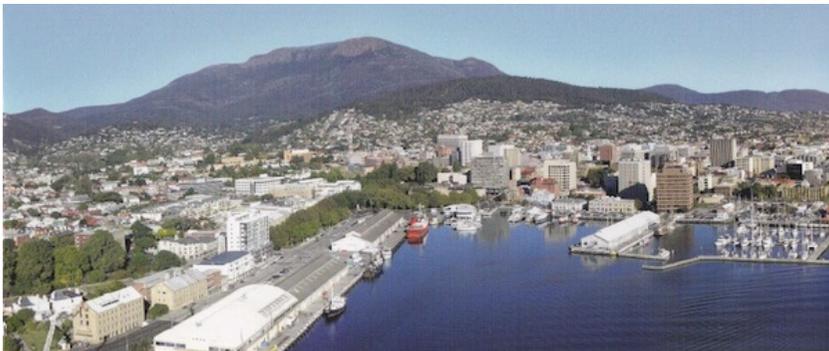
講師 Barrie Shelton バリー・シェルトン

アーバンデザイナー/シドニー大学名誉教授

柳川で1年半過ごしてみて、私はこの町の状況とそれが直面する問題が、以前住んだ場所での経験とよく似ていることに気がつきました。特に、長期間停滞状態にあったもう一つの「周縁都市」ホバートを思い出します。

20世紀後半、オーストラリアの大都市は経済成長の波に乗り、より一層の発展を遂げながら、そのために多くの遺産を失ってきました。ところが、ホバートでは経済が低迷していたために、古い建物や優れた景観をどうするか考える時間があり、それらを都市再生と、文化に関連した経済活性化の基盤にすることができました。1980年代、私は自身の新聞コラムでホバートの復興を予測しました。そして、ホバートの都市構造と特徴を解明し、最も歴史がありながら消滅の危機に瀕していた、ウォーターフロント地区の開発指針となる主要文献を、約15年間にわたりホバート市と共に作成してきました。今回の講演では、ホバートの事例を紹介しながら柳川の未来について、皆さんといっしょに考えてみたいと思います。

(写真:オーストラリア、タスマニア州ホバート市)



## 活動

### 柳川散策地図作成

水のまち研究会では、私たちと一諸に柳川散策地図を作成してくれる方やチームを募集しています。既存の地図では空白地帯になっている柳河地区(旧柳川市の北西から南東にかけてのカギ型の地区)には、歩いて楽しめる見所が散在しています。寺院、お店、建物、庭、掘割といった柳川でよく知られているものだけでなく、廃墟や奇妙なものやキッチュなディスプレイといったポップな柳川の顔が見えるものなど、魅力ある場所をつなぐ独自の地図を作ります。3回のワークショップとグループごとのフィールドワークを実施し、11月末に原案作成、トライアルウォークとフィールドバックを経て2019年1月完成予定です。完成した地図は印刷し、市内要所に配布するだけでなく、ホームページからダウンロードできるようにします。自分達が作った地図が、柳川市民や柳川を訪れる人たちによって使われる喜びを体験してみませんか。第二回公開講座の講演に続いて、活動(方法説明、注意事項、グループ分け、テーマの設定など)を開始します。

参加ご希望の方は、申込用紙(TONERY 柳川店 京町49に置いてあります)にご記入下さい。facebook (<https://www.facebook.com/mizunomachi/>) のイベント欄や、下記のメールアドレスでもお申込できます。

参加申込(講演のみの参加もできます。)

下のアドレスにE-mail(メール)でお申込みください。



[mizunomachik3@yahoo.co.jp](mailto:mizunomachik3@yahoo.co.jp)

①お名前 ②ご所属 ③お電話番号 ④メールアドレスをご記入ください。

水のまち研究会は、旧城下町であり水のまちである柳川の過去現在を理解し、未来への提案を考える活動を行うことにより、柳川の町の景観・文化・伝統等をより良いかたちで次世代へ継承することを目的とする団体です。2017年9月より本格的な活動を開始しました。主な活動内容は、以下の2点です。

①柳川のまちに対する市民の理解を深めるための活動

②柳川のまちをより住みやすく魅力ある町にするための活動

2018年度は「柳川市市民協働のまちづくり事業」の一環とし、「柳川のまちを読み解く」をテーマにかかげ、専門家を交えたワークショップやシンポジウムを企画しています。

第二回公開講座 7月15日(日)14時~16時

第三回公開講座 9月9日(日)14時~16時

第四回公開講座 11月11日(日)14時~16時

シンポジウム 2019年1月26日(土)~27日(日)2日間

柳川のまちを読み解く  
水とともに生きつづけるために

水のまち研究会 第三回公開講座

まちを知り、  
まちに生きる

参加費無料

柳川市市民協働のまちづくり事業 主催: 水のまち研究会 協賛: 柳川商店街振興組合

日時: 2018年9月9日(日) 14時~16時(13時半開場)

場所: 柳川市新町5-2 柳河ふれあいセンター1階

(柳川市役所駐車場を使用できます)

講演 柳川市都市計画課 定員: 100名

## 都市計画の視点: 柳川の未来のために

第一回公開講座では、柳川在住でシドニー大学名誉教授のバリー・シェルトン氏に「柳川のまちの構造分析」と題して、都市デザイナーの立場から見た柳川のまちの特徴と問題点について講演してもらいました。その中で特に重要だと指摘された点が二つあります。ひとつは、柳川のまちの構造そのものが貴重な文化遺産であるということ。もうひとつは、水のまちでありながら、水との関わりが希薄になっているということです。

この二点を考える上でのヒントとして、第二回公開講座では、シェルトン氏がコンサルタントとして15年間関わってきた、タスマニア州ホバート市ウォーターフロント開発計画の事例を紹介してもらいました。ホバート市は坂のまち、柳川は平坦なまちという地形的な違いはありますが、特徴的な構造を持つということと、水との関わりをなくしつつあったという点で、同じような閉塞状態に陥っていました。そのホバート市が奇跡的な復興を遂げた過程を知ることで、参加者の皆さんのなかには、柳川の未来へとつなげる方法を模索する動きが出てきました。

その流れを汲んで、今回の講座では柳川市都市計画課より、柳川市の現状や柳川市都市計画マスタープラン(基本計画)の内容を説明いただくとともに、実際に市民協働のまちづくり、景観形成を重視して進められた「西鉄柳川駅整備プロジェクト」と「柳川時間の流れる風景づくり」についてお話していただきます。

先人から受け継いだバトンを、将来の世代へどのように渡していくのか。柳川らしい景観、誇れる柳川のまちをどんな形でつなげていくのか。持続可能な社会のために、都市構造は何を目指して計画され、どのような事業が行われているのか。どれも私たちに関わりのある重要な問題です。

水のまち研究会は、みなさんといっしょに柳川のまちへの理解を深め、柳川の未来について考えてみたいと思います。今回都市計画課の話を通じて、「都市の将来像の共有」と「市民協働推進」の輪が広がっていくことを期待しています。



参加ご希望の方は、申込用紙(TONERY 柳川店 京町49に置いてあります)にご記入下さい。facebook(<https://www.facebook.com/mizunomachi/>)のイベント欄や、下記のメールアドレスでもお申込できます。

### 参加申込

下のアドレスにE-mail(メール)でお申込みください。



mizunomachik3@yahoo.co.jp

①お名前 ②ご所属 ③お電話番号 ④メールアドレスをご記入ください。

水のまち研究会は、旧城下町であり水のまちである柳川の過去現在を理解し、未来への提案を考える活動を行うことにより、柳川の町の景観・文化・伝統等をより良いかたちで次世代へ継承することを目的とする団体です。2017年9月より本格的な活動を開始しました。主な活動内容は、以下の2点です。

- ①柳川のまちに対する市民の理解を深めるための活動
- ②柳川のまちをより住みやすく魅力ある町にするための活動

2018年度は「柳川市市民協働のまちづくり事業」の一環とし、「柳川のまちを読み解く」をテーマにかかげ、専門家を交えたワークショップやシンポジウムを企画しています。どなたでも参加できます。詳細は1ヶ月前に公開しますので、facebookページやメールチェックをお忘れなく!

まち歩きワークショップ① 10月14日(日) 10~17時

まち歩きワークショップ② 10月28日(日) 10~17時

第四回公開講座 11月11日(日) 14時~16時

シンポジウム 2019年1月26日(土)~27日(日) 2日間